

『青猫』刊行100年記念展「BLUE MELANCHOLIE」 『青猫』が『定本青猫』に辿りつくまでを開催します

1 概要

第一詩集『月に吠える』において口語自由詩を確立し、一躍時の詩人となった朔太郎。それから中断期を挟み6年、第二詩集『青猫』、ついで第三詩集『蝶を夢む』が刊行され、ともに今年度100年を迎えました。

これを記念し、『青猫』を軸として関係する原稿や初出誌、詩集の刊行前後の書簡などを紹介、『青猫』が生まれた背景をわかりやすく紐解き、改めて作品世界を見直します。

2 公開日時・会場等

- (1) 会期 1月27日(土)～5月26日(日)
- (2) 会場 前橋文学館2階企画展示室(千代田町三丁目12-10)
- (3) 開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
- (4) 休館日 水曜日、2月26日(月)～3月5日(火) ※空調工事のため臨時休館、
3月21日(木) ※3月20日(水・祝)は開館
- (5) 観覧料 一般500円(高校生以下、障害者手帳持参の人とその介護者1人無料)
無料日 1月27日(土) 展覧会初日

3 関連イベント

- (1) 作品朗読会 『青猫』世界～情炎と憂鬱が昇華するとき～
日時 2月17日(土) 14時～
定員 先着80人
申込 文学館に事前予約(空きがあれば)当日参加も可能
出演 磯干彩香(あかぎ団)・加藤さやか(あかぎ団)・東野善典(地元役者)
萩原朔美(前橋文学館館長)・KPC(音楽)他
- (2) ワークショップ(各回定員20人)
 - ①「ミニ障子」を作ろう
5月26日(日) 講師 群馬県建具組合連合会
1回目: 10時～11時30分 2回目: 13時～14時30分
3回目: 15時～16時30分
3月18日(月)から申込開始 文学館に事前予約(空きがあれば当日参加も可能)
 - ②「猫なチャーム」を作ろう(時間及び申込開始は上記①と同じ)
4月13日(土) 講師 前橋文学館の職員
- (3) 担当学芸員によるギャラリーガイド
3月23日(土) 15時～(予約不要)

担 当 文化国際課文学館

電 話 027-235-8011